

## 将来計画委員会

### (1) 年度計画の実施状況

将来計画委員会の年度計画は、第3期中期計画の2カ年目に当たり、本年度から設置された新しい人文社会科学部のカリキュラムを順調に立ち上げることが年度計画に記されていることから、これに全力を注いだ。そのために、従来の将来計画委員会が所管してきた業務のうち、カリキュラムの運営上新しく設計・制定する必要がある場合の教育関係における企画機能については、委員会組織を改組し、新学科長を構成員に含む新しい教務委員会に移管・統合することにより、業務遂行の円滑化を図った。これにより、中期計画の成否を握る新カリキュラムの運営について、全学教育機構と協力しながら、よりスピーディに取り組むことができた。

### (2) その他の活動報告：入試改革・大学院改組に向けた計画立案

今年度の委員会活動は、平成29年度に新カリキュラムがスタートし、企画機能の一部を新しい教務委員会に移管したことにより、学部の改組については一段落した。これにより、次の課題は、①平成33年度入試改革に向けた学部の取組、②学部の新カリキュラム完成年度後に想定される平成33年度大学院改組に移った。そこで、二つの課題に取り組むべく、新学科長を含む構成員からなる入試企画部門と、専攻長を含む大学院部門に分け、それぞれの課題について検討を開始した。①の入試企画部門は将来計画委員のうち入試企画委員長が中心となり、入試企画委員会と協力しながら7回の委員会(拡大委員会を含む)を開催し、平成33年度の全国的な入試改革に応じて必要な学部・学科の取組について議論を行った。②の大学院部門は、教育学部からの教員異動、及び公認心理師対応を見据えた大学院改組を議論する前提として、年度末に第1回の委員会を開催し、臨床心理士と公認心理師に関する事実関係について確認した。

平成29年度将来計画委員会委員長：田中裕